

令和4年度 事業報告書

社会福祉法人 みやま市社会福祉協議会

I. 全体概要

住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らせる社会の実現は、すべての皆さんが願っていることです。

みやま市でも、高齢化（高齢化率 38.9%令和4年4月1日現在）の進行に伴い閉じこもりや孤立死等への課題が生じています。少子化や核家族化、ひとり暮らし世帯の増加は、家庭での子育てや介護機能の低下ばかりではなく、近隣の人々がお互いに支え合う相互扶助機能の喪失にもつながっております。

こうした状況において、みやま市社会福祉協議会では「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を基本理念とした地域福祉事業を進めておりましたが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、行動や人との接触に制限が求められ、事業の中止を余儀なくされ、十分な取り組みが出来ませんでした。その中で、地域の皆様や関係団体の参加を得ながら、第3次みやま市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定を進めて参りました。

今後も地域の連携を深めながら、地域福祉の推進に取り組んで参ります。

II. 各分野の事業

1. 法人運営事業

(1) 会議等の開催

① 理事会の開催

○令和4年 第2回理事会 令和4年6月9日

- ・会長及び常務理事の職務執行状況報告について
- ・令和3年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会事業報告について
- ・令和3年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計決算（計算書類及び財産目録）の報告について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会理事の推薦について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会評議員の推薦について
- ・令和4年第1回評議員選任・解任委員会の招集について
- ・令和4年第2回評議員会の招集について
- ・社会福祉充実計画の変更について

○令和4年 第3回理事会 令和4年8月25日

- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会副会長の選定について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会会長表彰者の承認について
- ・令和4年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第1号）について
- ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会評議員の推薦について
- ・令和4年第2回評議員会選任・解任委員会の招集について
- ・令和4年第3回評議員会の招集について

- 令和5年 第1回理事会 令和5年1月20日
 - ・令和4年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第2号）について
 - ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会事務局職員給与規程の一部改正について
 - ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会理事の推薦について
 - ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会評議員の推薦について
 - ・令和5年第1回評議員選任・解任委員会の招集について
 - ・令和5年第1回評議員会の招集について

- 令和5年2月7日
 - ・理事会決議の省略に係る同意について（書面決議）

- 令和5年 第2回理事会 令和5年3月20日
 - ・会長及び常務理事の職務執行状況報告について
 - ・令和5年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会事業計画について
 - ・令和5年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計資金収支予算について
 - ・令和5年度第2回評議員会の招集について

② 評議員会の開催

- 令和4年 第2回評議員会 令和4年6月27日
 - ・令和3年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会事業報告について
 - ・令和3年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計決算（計算書類及び財産目録）の報告について
 - ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会理事の選任について
 - ・社会福祉充実計画の変更について

- 令和4年 第3回評議員会 令和4年9月14日
 - ・令和4年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第1号）について

- 令和5年 第1回評議員会 令和5年1月30日
 - ・令和4年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算（第2号）について
 - ・社会福祉法人みやま市社会福祉協議会理事の選任について

- 令和5年 第2回評議員会 令和5年3月29日
 - ・令和5年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会事業計画について
 - ・令和5年度社会福祉法人みやま市社会福祉協議会一般会計資金収支予算について

③ 監査の実施

- ・第1回監査 令和4年5月12日（決算監査）
- ・第2回監査 令和4年10月25日（上半期監査）

④ 委員会等の状況

- ・事業計画委員会 令和5年2月24日
- ・企画財政委員会 令和5年2月28日
- ・評議員選任・解任委員会 令和4年6月15日
令和4年9月1日
令和5年2月15日

(2) 社会福祉協議会会員制度による会費

令和4年度社会福祉協議会会員制度による会費として5,189,615円の協力を頂きました。前年度納入実績により市内15校区社会福祉協議会へ会費の85%を活動財源として交付したほか、小地域ふれあいネットワーク、ふれあい・いきいきサロン事業等の財源としました。

・瀬高地区	5,824世帯	2,966,500円	(1世帯500円)
・山川地区	1,269世帯	634,500円	(1世帯500円)
・高田地区	3,184世帯	1,583,615円	(1世帯500円)
・特別会員	1口	5,000円	(1口5,000円)

(3) 共同募金事業

赤い羽根共同募金は、福祉団体の活動を財政面から支えるものです。共同募金会みやま市支会では、住民、企業、区長、民生委員等のみなさまのご協力を得て、合計8,521,366円の募金をいただきました。

○共同募金会みやま市支会理事会開催 令和4年8月25日

○共同募金会 令和4年度戸別募金実績

地区	瀬高地区	山川地区	高田地区	合計
共同募金額	3,356,600円	752,280円	1,702,074円	5,810,954円
歳末募金額	558,500円	126,100円	291,800円	976,400円

※一般募金・・・戸別・法人・個人・団体・イベント・街頭・職域等

○共同募金配分金事業は、赤い羽根共同募金B枠配分(令和3年度実績に応じた配分)及び歳末たすけあい募金配分(本年度実績に応じた配分)を受け、新入学児童への黄色い帽子贈呈など市社協が行う福祉事業の他、校区社会福祉協議会やふれあい・いきいきサロン・子育てサロン・福祉団体等へ助成を行うなど地域福祉向上のために活用しました。

2. 地域福祉活動計画に基づいた具体的事業内容

(1) みんなで支え合う連携体制づくりを進めます。

① 小地域福祉活動事業

○ふれあいネットワーク

住み慣れた地域で、誰もが支えあいながら、安心して健康でいきいきと元気に暮らすことができる地域社会を作っていくために、人と人とのつながりにより助け合う、ふれあいネットワークの組織づくりと育成支援に取り組みました。

このネットワーク活動では、独居・高齢者世帯を訪問する福祉推進員並びにふれあい活動員による声掛け・見守り・安否確認等の活動を展開しました。コロナ禍におけるふれあい見守り活動の方法について周知を図りました。

○福祉推進員・ふれあい活動員設置状況

地区	福祉推進員等人数	設置行政区数	備考
瀬高地区	福祉推進員 137 人	88 区/88 区	増減なし
山川地区	ふれあい活動員 91 人	31 区/31 区	増減なし
高田地区	ふれあい活動員 306 人	30 区/30 区	14 人減
合計	534 人	149 区/149 区	

○福祉推進員・ふれあい活動員活動報告・研修等

市社会福祉協議会主催の新任向けの福祉推進員・ふれあい活動員説明会を開催しました。感染症対策を講じながら人数制限を設け分散して説明会を行いました。

- ・令和4年6月30日 瀬高地区、山川地区対象 会場：山川市民センター
- ・令和4年7月4日 高田地区対象 会場：山川市民センター

② ふれあい・いきいきサロン支援事業

小地域を単位とした住民相互のふれあいの場として、誰でも気軽に参加できるふれあい・いきいきサロンの活動支援を行いました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、具体的な感染予防対策の呼びかけと消毒液や非接触型体温計の貸し出しを行いました。また、サロンが開催できなかった場合に行った活動（見守り活動：資料等の配布・声掛け活動など）に対しても経費を支給し、活動を継続できるよう支援しました。

また、みやま市より「ふれあい・いきいきサロン支援事業」を受託し、市社会福祉協議会が実施する活動補助と合わせた補助金の交付、施設使用料補助、冷暖房費補助等、財政面での支援を行いました。

○ふれあい・いきいきサロン設置状況

100ヶ所（瀬高地区 56 サロン 山川地区 15 サロン 高田地区 29 サロン）

○サロン活動実績

地区	月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
瀬高	開催回数	53	57	60	47	25	43	59	60	53	43	59	58	617
	参加者数	742	746	809	582	269	478	848	810	737	552	792	802	8,167
山川	開催回数	16	14	18	10	11	12	16	15	16	14	15	18	175
	参加者数	149	118	163	58	77	104	138	118	152	137	124	175	1,513
高田	開催回数	23	23	25	23	16	18	25	26	25	24	25	25	278
	参加者数	361	399	458	383	300	292	369	389	376	393	403	428	4,551

○ふれあい・いきいきサロン代表者会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止と致しました。9月・2月文書にて資料を配布しました。

○みやま市サロン交流会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止と致しました。

③ 地域ふれあい食堂の活動支援

食事の提供に加え、学習や居場所等の支援機能を併せ持った場づくりを図り、地域でのふれあいの活性化を図ることを目的に活動されている6団体に活動の支援を行いました。

・令和4年度のべ参加者数 752名

④ 生活困窮者自立支援ネットワーク事業

制度の狭間で対象外となる生活困窮者に対して、必要に応じて食糧や日用品、家電製品を提供・貸出をすることによって、生活困窮者の当面の生活を守るセーフティネットの役割を果たしました。そして、当面の生活を確保した後も、生活困窮者の生活を振り返り課題を整理し、自立を基本とした生活再建を図るための相談援助に繋げました。

また、チラシの配布により、事業の周知や提供可能物品の確保に努め、即時即応の支援ができる環境づくりを行いました。

- ・登録件数 令和4年度新規登録件数 1件 延べ登録件数 17件（内就労4件）
- ・物品等寄付受付件数 26件
- ・物品等提供実績 30件
- ・物品貸出実績 3件

⑤ 当事者の会の支援

○結ぶ会

子どもの発達に悩む親が悩みを共有できる場を設け、孤立せずにより良い子育てができる環境の場づくりの支援を行いました。

○在宅介護者家族の会

これまで活動支援を行ってきましたが、令和3年度をもって活動を休止されたため、支援を中断しています。

⑥ 各種団体助成事業

○みやま市老人クラブ連合会への支援

会員同士の交流を深めるとともに、一人暮らし高齢者世帯・高齢者夫婦等世帯に対し、老人クラブ会員が友愛訪問する「愛の一声運動」を展開している、みやま市老人クラブ連合会への支援を行いました。

○みやま市子ども会活動への支援を行いました。

⑦ 民生委員・児童委員協議会との連携

定例会議への参加などを通し、相互に情報交換を行い、顔の見える関係づくりに努めました。

また、日常的に地域支援や生活支援に関することなどの相談に応じ、連携して地域福祉の増進に取り組むことが出来るよう努めました。

⑧ みやま市生活支援・介護予防体制整備推進協議体への参画

みやま市が設置する「生活支援・介護予防体制整備推進協議体」に参画し、地域課題の解決に向けた連携及び協働による体制整備を推進しました。

⑨ 災害時における様々な機関との連携

災害発生時に、応急対応活動を行う場所の確保及びボランティア活動を円滑に実施するために、みやま市と災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定を締結しており、定期的な情報交換のため関係各署との会議を実施しています。

また一般社団法人 山門青年会議所と相互協力協定の締結を行っており、今後も様々な機関との連携を進めます。

⑩ ふれあい給食サービス

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止と致しました。

(2) 福祉のまちづくり活動の拠点づくりを進めます。

① 市社会福祉協議会と校区社会福祉協議会の連携

○校区社会福祉協議会役員研修（校区社会福祉協議会役員・評議員）

・令和4年10月21日 会場：山川市民センター

講演：地域づくりにおける校区社協の役割について

（講師）九州大谷短期大学 中村秀一氏

報告：県内の校区社協活動事例紹介

（講師）福岡県社会福祉協議会地域課 地域・ボランティアセンター 奥川恵氏

○校区社会福祉協議会連絡会等状況

本年度校区社会福祉協議会連絡会は、次の活動を行いました。

- ・令和4年4月28日 みやま市校区社会福祉協議会連絡会正副会長会
- ・令和4年5月23日 みやま市校区社会福祉協議会連絡会正副会長会
- ・令和4年6月3日 みやま市校区社会福祉協議会連絡会
- ・令和4年8月19日 みやま市校区社会福祉協議会連絡会正副会長会
- ・令和4年10月21日 みやま市校区社会福祉協議会連絡会
- ・令和4年12月27日 みやま市校区社会福祉協議会連絡会正副会長会
- ・令和5年1月13日 みやま市校区社会福祉協議会連絡会

<作業部会>

令和4年度より、連絡会内に作業部会を立上げ、連絡会の自主性と統一した取り組みを進めるため、開催されています。

- ・令和4年7月20日 みやま市校区社会福祉協議会連絡会作業部会
- ・令和4年9月12日 みやま市校区社会福祉協議会連絡会作業部会
- ・令和4年11月14日 みやま市校区社会福祉協議会連絡会作業部会

② 地域座談会開催の推進

令和4年度の開催はありませんでした。策定中の第3次地域福祉活動計画に重点項目として位置付ける等、今後の開催推進に向けた準備を進めました。

③ 子育てサロン活動の支援

地域社会が一体となった子育てを支援する環境をつくるため、子育てサロンの活動支援を目的に、サロン活動費の一部を助成しました。

④ 介護予防普及啓発事業（みやま市受託事業）

介護予防の重要性と実践方法の普及を行うことを目的として、ふれあい・いきいきサロンに講師や看護師の派遣を行いました。また、人材育成を図るため、レクリエーション講座や地域の人材を活かした教室を開催しました。

派遣実績 ※（ ）内は計画件数

講師種別	講演会					相談会	ボランティア養成	
	健康運動 指導士	栄養士 (調理有)	栄養士 (調理無)	その他 講師	合計	看護師	講師	地域講 師
派遣実績	48(54)	4(1)	6(9)	338 (459)	396 (523)	295 (423)	15(20)	12(12)

⑤ 介護予防事業（生きがい教室）（みやま市受託事業）

高齢者の閉じこもりや認知症を予防することを目的として、健康運動指導士やレクリエーション指導士等による運動プログラムを実施しました。

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	1回平均
開催数	10	7	10	8	10	10	9	9	10	9	6	1	99	
参加者数	146	103	122	85	100	120	121	111	121	93	65	18	1,205	12.2

⑥ つどいの広場事業（みやま市受託事業）

週6日（月～土曜日）乳幼児をもつ親子が気軽に集える場として、つどいの広場を開設しました。また、親子同士の交流や育児相談などを実施しました。このほか、子育て講習会を年15回実施し、子育てについての学習や相談の機会を設けました。

○開催実績

・会場：4～9月 あたご苑、10月～3月 総合市民センター

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
開催数	25	23	26	25	24	15	23	17	21	21	19	22	261	
参加数	139	144	177	167	117	63	207	138	143	135	180	157	1,767	

○子育て講習会開催実績（参加者数は、託児・見学者の人数を含む）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
開催数	2	1	1	1	1	1	0	2	2	2	1	1	15	
参加数	21	25	16	13	20	15	0	55	46	36	18	32	297	19.8

⑦ 福祉センター等の活用

○高田総合保健福祉センター管理運営事業（あたご苑）

○山川総合保健福祉センター管理運営事業（げんきかん）

・センター利用者実績

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
高田 （あたご苑）	540	557	457	386	310	366	397	450	502	513	551	555	5,584
山川 （げんきかん）	285	280	306	253	211	249	276	283	280	278	318	343	3,362

(3) 福祉のまちづくりに関する意識づくりを進めます。

① 出前講座

小中高等学校やふれあい・いきいきサロン等に福祉教育や体験学習を通じて福祉に対する意識づくりに努め、周知を図りました。

② 市民福祉講座の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

③ 障がい児者ふれあい交流会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とされました。

④ 小中高等学校福祉活動支援事業

県内で実際に起こった出来事を題材に、小学3年生から6年生までの児童を対象とした福祉教育教材「ともに生きる」を配布しました。各学校を通じて281冊配布し福祉教育の充実に努めました。

⑤ 黄色帽子贈呈事業

小学校新入学児童 272 名に対して、交通事故防止のための黄色い帽子を贈呈しました。

⑥ まるごとみやま市民まつり

地域福祉推進のため積極的に活動され、その功績が顕著な方に対し、表彰規程に基づき表彰式を行い、活動を広く伝えました。

⑦ 広報事業

○社協だよりの発行

社会福祉事業の周知と地域福祉への関心を高めるため、社協だよりを発行しました。

・56号 令和4年4月1日発行

・57号 令和4年7月1日発行

・58号 令和4年10月1日発行

・59号 令和5年1月1日発行

○公式ホームページの運営 (<http://www.miyama-syakyo.com/>)

(4) 福祉のまちづくりを担う人材づくりを進めます。

① ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターでは、ボランティアセンターに登録している団体の相談対応や助成金・講座の紹介を行いました。活動への参加を希望する人には、ボランティア活動や養成講座の紹介を行いました。ボランティアによる支援を希望する人には、活動情報の提供や相談対応、紹介を行いました。

○ボランティア団体登録数

- ・ボランティアセンター登録 44 団体 374 人 (個人 4 人を含む)
- ・(ボランティア連絡協議会加入) 20 団体 184 人 (個人 1 人を含む)

○福祉ボランティア派遣・調整実績

ボランティアセンターでは、依頼に基づきボランティアの派遣・調整を行っています。

具体的には、ふれあい・いきいきサロンの年間計画に基づいた計画派遣や地域行事や福祉施設への派遣依頼、相談対応を行いました。

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計画派遣(サロン等)	12	11	17	16	6	17	10	16	18	19	22	12	176
キャンセル	6	9	12	12	6	14	8	11	12	18	17	9	134
実活動数	6	2	5	4	0	3	2	5	6	1	5	3	42
派遣調整 (福祉施設等)	0	0	2	1	0	0	3	0	0	0	1	2	9
相談対応件数	1	1	1	0	1	5	3	7	2	3	2	3	29

○修繕ボランティア活動実績

- ・瀬高地区 障子 42 枚 / 網戸 13 枚 / 襖 4 枚
- ・高田地区 障子 0 枚

○ジュニアボランティア講座 (みやま市ボランティア連絡協議会主催) 開催への協力
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。

○音訳・点訳ボランティアの支援等

視覚障がい者が日常生活を送るうえで必要なコミュニケーション手段の普及を目指し、音訳・点訳ボランティアの支援などを行いました。

② 介護予防ボランティア支援事業 (スマイルポイント) (みやま市受託事業)

高齢者が介護施設や障がい者施設、小学校等で行うボランティア活動に対してポイントを付与し、それを奨励金と交換することで、高齢者の社会参加活動を促進し、介護予防につなげることを目的とした事業です。

- ・スマイルメイト登録者数 31 人
- ・スマイルメイト研修受講者数 4 人
- ・活動実績 16 人 延べ 365 時間

③ ファミリー・サポート・センター事業（みやま市受託事業）

市民ボランティアによって低額で子育てを支援する制度です。子どもの一時預かりや市内の保育施設から自宅間の送迎などを行います。センターは預かる人（まかせて会員）の養成や登録、その後の講習・交流、預けたい人（おねがい会員）や両方を兼ねる人（どちらも会員）の登録や依頼の受付、マッチングの業務を行い、サポート活動が安全に行われるよう補助や確認業務を担いました。また、赤い羽根共同募金からの助成でおためし券を発行し、利用拡大に努めました。

- ・料金 1時間 500円・700円（内訳 市補助 300円 / 利用者負担 200円・400円）
- ※ 送迎利用時は、経費として1回につき100円追加

○月別活動件数 （月平均件数 124件）

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
依頼件数	132	149	141	169	121	181	145	134	68	67	71	110	1,488
キャンセル	16	10	13	44	36	38	19	37	22	19	3	23	280
実活動件数	116	139	128	125	85	143	126	97	46	48	68	87	1,208

○依頼内容

依頼内容	一時預かり	109件
	保育施設・学校の送迎（預かり無し）	887件
	保育施設・学校の送迎（預かり有り）	212件
合計		1,208件

○会員数

まかせて会員 73人 おねがい会員 398人 どちらも会員 22人 計 493人
 ※おためし券発利用 59枚

④ 手話奉仕員養成講座（入門・基礎課程）（みやま市受託事業）

- ・入門受講者 9名（うち7名終了）
- ・基礎受講者 4名（うち3名終了）

(5) 福祉サービスの適切な利用体制づくりを進めます。

① 心配ごと相談事業

市民の日常生活上の悩みごとや困りごとの相談窓口として、心配ごと相談事業を行い、助言・指導を行いました。

- 瀬高地区(旧上庄小学校・旧みやま消防署) 毎月(第1、2、4月曜日 13時～16時)
相談者数・・・39人 開催日数 35日 相談員 4人
- 山川地区(げんきかん) 毎月(第1、3火曜日 13時～16時)
相談者数・・・18人 開催日数 23日 相談員 3人
- 高田地区(まいピア高田) 毎月(第1、3水曜日 9時～12時)
相談者数・・・9人 開催日数 24日 相談員 3人

相談内容	多重債務	年金	住宅	家族	結婚	離婚	健康・医療・衛生	精神衛生	人権・	財産	事故	児童福祉	教育	障がい者福祉	老人福祉	苦情	その他	計
件数	1	0	0	8	0	1	5	49	4	4	0	1	0	0	1	1	8	83

② 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

低所得者、高齢者、障がい者に対し、経済的自立および就学・就業等生活意欲の助長を図る目的で生活資金の貸付業務を行いました。

また、令和2年3月29日より新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特別措置である緊急小口等の特例貸付が導入され、一時的・生活再建までの間に必要な生活費の貸付業務を行いました(令和4年9月末で終了)。

○令和4年度実績

- ・相談件数 55件(前年比-4件) / 新規貸付相談 47件(前年比+13件)
- ・新規貸付申請数 53件(内コロナ特例35件) / 貸付額 14,717,000円
(コロナ特例以外18件の内訳)
- 総合支援資金0件 / 福祉資金16件(932,000円) / 教育支援資金2件(2,385,000円)

○令和4年度までの累計

- ・貸付総件数 347件(前年比+110件)
- ・貸付総額 133,326,000円(前年比+42,649,000円)

③ 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分なため、自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な方や、金銭の管理に困っている方に対し、情報提供や助言、利用料の支払い、生活費の受渡し等の支援を行いました。

本人の意思を尊重しながら、社会資源などを十分に把握し関係機関・団体と連携することにより、地域で安心して生活できるような支援を行っています。また契約後の支援では、利用者に応じた支援が必要とされるため、支援内容の多様化、複雑化に伴う専門性が必要とされています。

- ・契約者数 22人 / 新規相談人数 10人
- ・解約者数 6人（本人管理移行 2人 / 成年後見制度移行 3人 / ケース移管 1人）

④ 生活管理指導員派遣事業（みやま市受託事業）

介護保険の対象にならない、日常生活に何らかの援助が必要なおおむね 65 歳以上の高齢者等に生活管理指導員を派遣し、日常生活に対する指導及び支援を行い、要介護状態への重度化防止に取り組みました。

- ・利用者数 1人 年間提供回数 92回

⑤ 在宅福祉サービス事業

介護認定を受けた要支援及び要介護の利用者に対して居宅介護支援事業、訪問介護事業及び通所介護事業を行い、在宅生活の支援に取り組みました。

○居宅介護支援事業（ケアプラン）

要支援・要介護の認定を受けた方で、介護を必要とする方の心身の状況や意向を踏まえ居宅サービス計画の作成等のマネジメントを行いました。また、利用者及び家族、サービス提供機関等との連絡・調整等連携を図りました。

(単位：人数)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要支援	20	22	20	21	21	21	19	21	20	20	18	19	243
要介護	71	69	71	72	74	74	70	73	70	70	68	68	843
合計	91	91	91	93	95	95	89	94	90	90	86	87	1,086

- ・月平均利用者数 90.5人 年間前年比 2人増

○訪問介護事業

要支援・要介護の認定を受けた方で介護を必要とする方の心身の状況、利用意向を踏まえたケアプランにより各家庭にヘルパーを派遣し身体介護や生活援助を行いました。

(単位：人数)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要支援	65	60	59	64	65	63	63	61	63	64	63	62	752
要介護	54	53	53	52	51	51	54	57	49	51	57	55	637
合計	119	113	112	116	116	114	117	118	112	115	120	117	1,389

- ・月平均利用者数 115.75人 年間前年比 12人減
- ・提供回数 11,938回 (月平均 994.8回 年間前年比 534回減)
- ・提供時間 11,305.3時間 (月平均 942.1時間 年間前年比 117.1時間増)

○通所介護事業

要支援・要介護の認定を受けた方で介護を必要とする方を通所介護事業所へ送迎し、心身の状況、利用意向を踏まえたケアプランにより入浴、排泄、食事等の介護やレクリエーション等の支援を行いました。

(単位：人数)

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
要支援	14	13	13	12	11	9	10	10	11	10	10	10	133
要介護	17	17	16	15	18	19	22	20	19	19	20	19	221
合計	31	30	29	27	29	28	32	30	30	29	30	29	354
提供回数	311	251	319	280	274	299	333	350	335	181	309	337	3,579

- ・月平均利用者数 29.5人 年間前年比 0.2人減
- ・提供回数 3,579回 (月平均 298回 年間前年比 10回増)
- ・提供時間 9時30分～15時45分 / 9時15分～16時30分
- ・(保険外通所介護 月平均利用者数 2.3人 提供回数 133回)

⑥ 障がい福祉サービス

○居宅介護事業、重度訪問介護事業

障がい者（児）を対象に、日常生活の営みに支障のある家庭にヘルパーを派遣し、家事・介護等の援助を行うことにより、生活の安定に資するための支援を行いました。

(単位：人数)

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
居宅介護利用者	24	24	24	23	23	23	21	23	22	22	24	26	279
重度訪問介護者利用者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35
利用者合計	27	27	27	26	26	26	24	26	25	25	27	28	314

- ・月平均利用者数 26.2人 年間前年比 32人増
- ・提供回数 4,682回 (月平均 390.01回 年間前年比 172回増)
- ・提供時間 5,639.7時間 (月平均 470時間 年間前年比 15.7時間増)

○地域生活支援事業（移動支援）

(単位：人数)

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者数	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1	9
提供回数	13	15	13	0	0	0	18	14	13	14	15	13	128

- ・月平均利用者数 0.75人 年間前年比 16人減
- ・提供回数 128回 (月平均 10.66回 年間前年比 85回減)
- ・提供時間 128時間 (月平均 10.66時間 年間前年比 101.25時間減)

○計画相談支援・障がい児相談支援

障がい者（児）の利用者及びご家族に対して、障がい福祉サービスを利用するためのサービス等利用計画の作成及びモニタリングを実施し、相談支援を行いました。また、各種関係機関と連絡・調整等連携を図りました。

(単位：人数)

月 別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計画相談支援利用者	1	3	5	5	7	6	10	11	11	13	17	11	100
障がい児相談支援利用者	0	0	0	0	0	0	1	5	3	4	5	8	26
利用者合計	1	3	5	5	7	6	11	16	14	17	22	19	126

3. 市からの受託事業

社会福祉協議会の持つ公共性により、みやま市より様々な公共事業を受託しています。令和4年度は以下の事業を受託し、効率的かつ住民の福祉を重視した運営に努めました。事業内容については前述の通りです。

- (1) ふれあい・いきいきサロン支援事業
- (2) 介護予防普及啓発事業
- (3) 介護予防事業（生きがい教室）
- (4) つどいの広場事業
- (5) 総合保健福祉センター管理運営事業
- (6) 介護予防ボランティア支援事業（スマイルポイント）
- (7) ファミリー・サポート・センター事業
- (8) 手話奉仕員養成講座（入門・基礎課程）事業
- (9) 生活管理指導員派遣事業

4. その他の事業

- (1) 日本赤十字社事業

住民の皆様からのご協力により、4,199,129円（8,363件）の活動資金のご協力がありました。また活動資金は、災害救護訓練や救援物資の備蓄報告等を行いました。

- ・赤十字活動資金に係る活動資金募集の依頼（令和4年5月1日～6月30日）

- (2) 献血事業

血液の安定確保のため関係機関等へチラシ、ポスター、防災無線等で広域的に献血を呼びかけました。地域・職域・学校・街頭等での献血会を12回、献血車11台を配車し参加者544人のうち、499人の方より献血の協力がありました。

- ・みやま市献血推進協議会の開催 令和4年7月13日